

# 名取を **良**くする若き力と発想力！

名取市議会議員

# 吉田 良の 名取市政ビジョン

平成30年7月1日発行 第8号



## ともに考えよう、 仙台名取合併構想

第4回ゲスト  
富谷市議会議員  
しゅうこう  
**齊藤秀行 氏**



**吉田 良**  
昭和51年生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。名取市立みどり台中学校など県内の中・高等学校に勤務、学習塾経営。現在、名取市議会議員、総務消防常任委員会委員、議会運営委員会委員、混声合唱団せせらぎ指揮者。

5月23日(水) 15:00 (吉田)富谷は一昨年、町から市になりました。県内で最も勢いが感じられます。

(齊藤氏)富谷市は現在、借り入れがない状態で運営できています。周辺環境からメリットを受けられる点で恵まれていると思います。

名取市もそうですが、仙台市の隣にあるというのが大きいですね。

富谷市も仙台市と合併してもよいと思いますが、合併が成功した事例はあまり聞かれず不安があります。

合併しなかったらどうなっていたかは誰も分かりません。もっとひどくなっていたかも知れない。よりよい未来に向かってチャレンジしていく姿勢が必要です。

たしかに今の自治体の規模には限界が感じられます。交通インフラの整備が進みません。富谷に家を買っても、高齢世帯となったことで仙台に移ってしまったケースもあります。まして津波の被害を受けた地域は、これからますます大変なことになると思います。

復興事業の考え方そのものに無理があります。いくら莫大な予算をつけようと、もともと過疎化していた沿岸の集落が震災以前の規模に戻るのには非常に困難です。震災を機に、都市部への集団移転とコンパクトシティ化を推し進めるべきでした。

地域格差という意味では富谷も同じです。子どもたちは進学や就職を機に市外へ出て行ってしまいます。また富谷には歓楽地がありません。主要都市には大きな歓楽街があります。そこに行く目的があり、お金を落とすスキームができています。

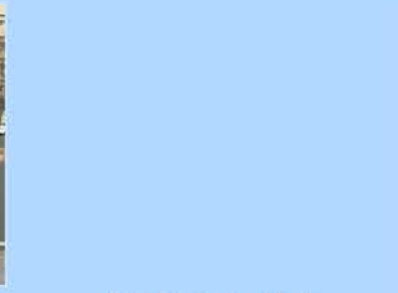
交通の拠点である駅や港を持たない富谷市で歓楽街を形成するのは容易ではありませんね。

現在、人は泉中央に流れてしまっています。バスの最終便以降は、泊まるかタクシーで帰宅するしかありません。

泉中央駅から地下鉄を北に延伸する案についてはどう思いますか。

20年かけて工事している間に、自動運転の方が早く完成するのではないのでしょうか。自動運転が普及すれば、バスもタクシーもいらなくなります。地下鉄にこだわらず、泉中央駅とつながらなればロープウェイでもよいと思います。ただし24時間営業です。

それは大胆な発想ですね。期待しております。



1月 名取市新春祝賀会や増田西部地区新春のつどいをはじめ、多くの新年会にお招きいただきまし  
た。埼玉県三芳町と栃木  
県足利市を視察し、コン  
プライアンス条例と制服  
リサイクルバンクについ  
て調査しました。  
2月 臨時会が開かれ、  
正副議長などが選出され  
ました。大友康信議員・  
大泉徳子議員とともに会  
派「名和会」を結成しま  
した。春の議員インター  
ンシップとして2カ月間、  
2名の大学生を受け入れ  
ました。「議員のイメージ  
ジが変わった」「視点を  
広げることができた」  
「若者こそ議会に関心を  
持つべき」などの感想が  
寄せられました。市制施  
行60周年市民提案事業と  
して「市民合唱祭」が採  
択されました。12月2日、  
文化会館大ホールに色と  
りどりの歌声が響きます。  
3月 ボランティアア連絡  
会増田西ひなまつり会、  
諏訪第一町内会・諏訪第  
二町内会・八幡南町内会・  
田高第一町内会の総会、  
第二中学校・増田西小学  
校の卒業式などに出席し  
ました。増田西婦人防火  
クラブと防火協力会共催  
の炊き出し訓練で、蘇生  
法の講習を受けました。



4月 大手町1丁目町内会・郷土史研究会・二つの名  
取を結ぶ会・ボランティア  
ア連絡会増田西部地区・増  
田西部地区子ども会育成会・  
増田西部地区町内会連合会  
の総会、増田西小学校・  
第二中学校の入学式など  
に出席しました。  
5月 憲法記念日に街頭  
活動に参加し、地方自治  
充実のため憲法第8章の  
改正を訴えました。総務  
消防常任委員会で関西地  
方を視察し、自治体シン  
クタンクなどについて調  
査しました。KPM増田  
川清掃に参加しました。  
自衛隊協力会・増田西公  
民館運営協力委員会など  
各種団体の総会に出席し  
ました。これまでの「あ  
りがとう」とこれからの  
「よろしく」の思いを込  
めた復興促進イベントが  
開催されました。  
6月 名取市総合防災訓  
練が相互台小学校で行わ  
れました。ドローンによ  
る医薬品の空輸訓練や、  
生コンクリート協会など  
と結んだ協定に基づくミ  
キサー車による水の運搬  
訓練などが行われました。  
議会運営委員会に関西地  
方を視察し、議会基本条  
例の検証と評価などに  
ついて調査しました。

## 名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！ 吉田良後援会は会員を募集しています

- ◎ 事務所 〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
- ◎ TEL 090-3368-1771
- ◎ FAX 022-774-1771
- ◎ ツイッター @ryoyoshida1771
- ◎ ホームページ <http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai>



後援会入会申し込みはQRから 討議資料

# 平成30年6月定例会 意見書を除く191件可決

2月補正で予算がついた増田中学校校舎大規模改修工事事業費が、今期補正で全額減となりました。事業が国に採択されるの見通しは、採択が見送られたという理由です。30年度補正予算にも計上されておりません。市の見通しの甘さもさることながら、国の財布に頼らざるを得ない地方財政制度そのものに問題があると改めて実感しました。

増田公民館と名取市図書館のオープンが12月19日に決定しました。市の公共施設の駐車場が無料であるのに対し、こちらは完全無料とはならない見込みです。市が管理組合負担金を支出し、さらに利用者から料金を支払う二重の負担をどう捉えるのか、料金体系が公表されるのを待つて市の見解をただしたいと思えます。

閉上公民館と閉上体育館の復旧工事の内容が明らかになりました。県道塩釜亘理線の東側に2階建ての一体型施設として再建されます。1階にはカフェ・ロビーやメディアコーナーを配置し、2階には3つの会議室が入ります。うち1室は子どもや高齢者が交流できる使い方を検討しているとのこと。災害時には屋外階段から直接屋上へ避難することができず、多くの市民に利用され、コミュニケーションの再生に寄与してほしいと思えます。

共産党議員が3年連続で、核兵器禁止条約への参加を求める意見書を提案しました。一昨年は反対したのは吉田1名だけでしたが、昨年は賛成11反対8と拮抗した経緯があります。常任委員会の審査で、国際情勢が見通せない今の時期に提出するのはいかがかという意見が大勢を占め、本会議において賛成6反対12で否決されました。今後も市民福祉にかなうかどうかを見極めて判断してまいります。

# 平成30年2月定例会 議会からの修正を含む461件可決

平成30年度一般会計予算（総額355億700万円。前年度比10・1%減）が可決されました。歳入では市税が過去最大の予算額であった前年度から0・8%の増となった一方、歳出では民生費が100億円の増に乗り、市の財政は依然として厳しい状況にあります。

名取駅東口に建設が進む再開発ビル内に、震災で被害を受けた名取市図書館と増田公民館が再建されます。新年度予算に再開発ビル北棟と駐車場棟の管理組合に対する負担金、合計約6300万円が計上されました。市が単独で建物を管理する従来のあり方ではなく、区分所有による管理となるため、ほかの権利者がかかることから情報公開が進みにくくなる懸念が懸念されます。討論において、施設管理に市の意思を反映させる機会を確保し、意思決定のプロセスを市民に説明する場を設置するよう求めました。

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の審議において、施設を運営する法人や管理者から暴力団を排除することをより明確にするために、議会側から修正の動議が提出されました。行政側は、原案でも暴力団やその構成員を排除できるとの認識でしたが、採決の結果、修正案が賛成多数で可決されました。議会の提案によって条文が修正されるのは、名取市議会では非常に珍しいことです。

農業委員会委員の任期満了に伴う後任15名全員の任命について、1名ずつ無記名投票で採決を行いました。投票は11時11分に始まり、昼休憩を挟み14時17分まで及びました。執行部は発言も退席もせず、無言で見守るしかありません。投票方法の見直しは課題であると感じました。

### 特別職礼遇者制度について

本市では、市長の職にあった者や4年以上市議会議員の職にあった者などを特別職礼遇者として待遇するが、辞退についての規定がない。

▼▼ 質問 ▼▼

該当要件の変更や、廃止を視野に入れた検討を行うべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

社会通念上、一般的に認められる範囲であり、廃止を検討する考えはない。

▼▼ 質問 ▼▼

礼遇を受ける要件に該当した者へ、礼遇者としての待遇の辞退を認めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

辞退の事例はないが、今後辞退の申し出があれば、その意志を尊重したい。

### 改元に向けた準備について

来年5月1日から新しい元号となる。市役所事務のコンピュータ化がいつそう進んだこともあり、改元による影響が行政や市民からの届け出等、さまざまな分野で生じるのではないかと危惧される。

▼▼ 質問 ▼▼

新元号が発表されたら、和暦西暦早見表を窓口等に設置すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

発表後速やかに、窓口のある全課に設置するよう周知徹底を図る。

▼▼ 質問 ▼▼

改元後も元号を用いることへ市民の理解と協力を求めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

本市では改元後もこれまでどおりの対応としていきたい。

▼▼ 質問 ▼▼

行政文書や住民からの届け出等における年の表示の原則は。

▼▼ 答弁 ▼▼

法的による規定などはないが、慣行として元号を使用している。

## 市民墓地など3事項を一般質問

### 区長制度の見直しについて

区長業務である広報など配付を自治会等が代行する場合、代行する市民に事故があっても公務災害とはならない。

▼▼ 質問 ▼▼

広報など配付業務を代行する住民に損害補償を担保すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

地域ごとの取り組みであり、市が損害補償を行うことは困難だ。

▼▼ 質問 ▼▼

事故の際に自治会保険が適用される確認はできているのか。

▼▼ 答弁 ▼▼

そこまでの確認はしていない。

### 名取市文化会館の施設及び設備の充実について

構造上、車椅子利用の出演者は大ホールまで自力で移動できない。

▼▼ 質問 ▼▼

屋内の空間から大ホール舞台までの経路をバリアフリー化すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

文化会館の南側の外入り口からの平坦な通路を案内している。

▼▼ 質問 ▼▼

大ホール舞台の構造上の問題により、吹奏楽コンクールなどに利用できない。

▼▼ 質問 ▼▼

大ホールの反響板にある出入り口の幅を県内同規模ホール程度に広げるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

大型楽器等を持つての出入りが困難な状況は承知しているが、改善には課題が多い。

▼▼ 質問 ▼▼

本市は吹奏楽が盛んである。地域の文化資源を生かす視点が大切だ。

▼▼ 質問 ▼▼

吹奏楽の楽器を備品として購入し、学校や市民へ貸し出すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

利用頻度や必要性、保管場所を考えると、市民に貸し出すことは難しい。

## 文化会館など3事項を一般質問

### 人の終末に関する施策について

合葬墓などの潜在的なニーズは小さくないと思われる。

▼▼ 質問 ▼▼

市民墓地公園に合葬墓の空間を整備すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

他自治体で運営している公営墓地の事例を参考に、調査・研究したい。

▼▼ 質問 ▼▼

新聞の訃報広告は有料だが、市ホームページなら無料でも掲載できる。

▼▼ 質問 ▼▼

市のホームページに訃報情報のページを設けるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

正確な情報を早急に掲載するには事務的負担が多い。慎重に対応したい。

▼▼ 質問 ▼▼

死亡した方に関係する手続きを個人で行うと、多ければ数10種類にも及ぶ。

▼▼ 質問 ▼▼

死亡に関する全ての届け出を受け付けるワンストップサービス窓口の設置を。

▼▼ 答弁 ▼▼

他の申請手続きと同様、専門的な説明ができる現在の対応を継続していく。

▼▼ 質問 ▼▼

単身や所得の少ない高齢者の割合がふえていくことが予想されている。このような方にとって、自らの最後を頼ることができる存在は行政しかない。

▼▼ 質問 ▼▼

子どもや孫への負担を軽くしたいと考える方も利用できるようにすべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

料金を収めた葬儀社が倒産などしたときの対応など、整理すべき課題は多い。

▼▼ 質問 ▼▼

独居高齢者を主な対象とするエンディングサポート事業に取り組むべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

「終活」への相談もある。今後情報収集を行い、調査・研究していきたい。

### 中学校制服の価格について

成長期の子どもは制服や体操着の買い替えが必要となるケースも多い。

▼▼ 質問 ▼▼

バザーなど制服再利用の取り組みを積極的に支援、紹介すべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

今後も再利用できるように、各学校に促していきたい。

▼▼ 質問 ▼▼

昨年11月、公正取引委員会が公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書を公表した。違反とならぬよう留意する必要がある行為も示されている。

▼▼ 質問 ▼▼

留意する必要がある行為について、学校を監督できているのか。

▼▼ 答弁 ▼▼

公正取引委員会が指摘する不適切な形で行われているとは考えていない。

▼▼ 質問 ▼▼

制服メーカー間及び販売店間の競争が有効に機能するよう取り組むべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

新たに制服を選定する場合には、コンペ等による選定を促していきたい。

### 区長制度の見直し（続き）

自治会組織等が区長を推薦している。区長業務は市内一律である。

▼▼ 質問 ▼▼

総会の議決などの手続を経た自治会組織へ、区長業務を委ねるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

現段階では考えていない。

▼▼ 質問 ▼▼

市は、区内全住民の個人情報リストを区長に自宅で管理させている。

▼▼ 質問 ▼▼

明治から時間がとまっているような情報管理体制は改めるべき。

▼▼ 答弁 ▼▼

区長に対するデータの提供の仕方について検討したい。

※会議録は議会ホームページで近日公開

※会議録は議会ホームページで公開中